



・立秋の季のご挨拶



愛海詩の会、会員始め、みなさま…。

残暑お見舞い申し上げます。

東京オリレピック、コロナ禍、酷暑、光と影を同時に見せられているようにも思い、くらくらする残暑の日々でございます。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。こうして筆を走らせておりますと、みなさまの変わらぬ笑顔、各々の立ち位置で励んでいる姿が浮かんで参ります。「総工費7億円、4階建ての愛海詩ビルを建てましょう!…云々…」と楽しいお手紙とサマージャンボ宝くじを沢山くださったのは、もう、ギャラリー愛海詩、愛海詩の会を20年以上、氣にかけてくださるある会社の社長です。宝くじなど縁のなかった私が爆笑してしまいました。正直、私にとって宝くじはジョークとゲームの域を出ないものです。しかし、今回は少しニュアンスが違いました。このコロナ禍だからこそ夢と笑いを…と、私を勇気づけてくださっていることを思うと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

どのような時でも信頼できる職人、作家、愛海詩の会員のみなさまと共にあることを思うギャラリー愛海詩でございますが、展示会ですら、日延べせざるをえないのは職人、作家のことを思えば、セツないことでもあります。それでも前を向いて行こうとするのですが、周りの人の働きや事柄の本当を見たり、思いやる気持ちの大切さをおさなりにしてはいないか…と自問しつつの日々の中、今回の宝くじは「こんな時だから笑いと夢と思いやりが大切なのです…」と、その社長から教えられているような気がしました。この気付きこそ今の私の宝です。サマージャンボ宝くじにまつわる夢と笑いは、しばらく続きそうです。大きく当たった暁には、職人、作家、かの社長はもちろん、会員のみなさまとも分かち合おうと思っております! (みなさまに夢と笑いを…)

みなさまが心身共に健やかでいらっしゃいますよう心よりお祈り申し上げます。どのような時でも「ほほえみ」を忘れずに…。コロナ禍においては確かな経験と知恵、信頼できる話や本を紐解き、上手に侮らず、乗り越えて参りましょう。また、いつでもお目にかかれるその日を多くの職人、作家の作品、その心と共に楽しみにお待ちしております。

ギャラリー愛海詩・佐藤睦子



ギャラリー愛海詩、玄関はいつでもすぐ右手に見える作品群、時季の器、バッグ、置き物の作品が並びます。上部の写真は作家や職人の作業風景、その作り手の技が輝く作品群、生活の中の彩りや潤いにしていきたい作品ばかりです。



ギャラリー愛海詩オリジナル豆皿
(里見寿隆作・三河内焼・サイズ：直径10.5cm)
普段に使い易いサイズで食卓の上にも置いときたい豆皿です。また、山田祐嗣氏のまねき猫とハト、小さな作品ですが存在感は大きい。いずれの作品も福音を運んでくれそうです。



シルク、質の高いオーガンジーのストールはハケ染め、旭川の大谷岬子作、そして酒井元芳作の水彩画、積丹ブルーの海の美しさが際立ちます。上二段は欧州刺繍、高木きらら作のバッグで持つ人を美しく装います。下段は宮本洋子作の水引きバッグ。これはギャラリー愛海詩の提案に水引き作家の技をいただき、他にはない丈夫で軽くエレガントなオリジナル作品です。(サイズ：たて17cm×よこ35cm×マチ7cm)



日本画「金魚すくい」
(藤原裕之作・京都・サイズ：たて27cm×よこ21cm)
幼い頃のお祭り金魚すくいに興じた懐かしい思い出と共に夏から秋へ切り替わる新涼を感じさせてくれます。小品ですが、和やかな逸品です。また、手前の籠にも時絵に金魚が描かれ、静寂な佇まいを感じます。左下のバッグは唐織で軽く、着る物を選ばない品性ある作品です。

お知らせ

ギャラリー愛海詩はこのコロナ禍において、かねてより、対策を怠らず努力して参りました。予定していたいくつかの作品展も日延べしております。そんな中ではありますが、ギャラリー1F(常設スペース)、ギャラリー2F(展示会スペース)として四季折々を楽しめる作品を揃えております。どうぞご安心なさってご高覧下さいませ。就きましては、当面の間、右記の通りにさせていただきます。ご理解下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

- ◇お越しになられる場合は、お手数ですがギャラリー愛海詩へご一報下さい。(1F、2F共に、比較的広くないスペースなので感染リスクを軽減するため…)
- ◇今現在、今後もまん延防止等重点措置、緊急事態宣言が発令されましたら、その期間のオープン時間を短縮させていただきます。[13:00~17:00・月曜日定休日] 発令解除後のオープン時間は通常通りでございます。[11:30~18:00(木曜日は13:00~)・月曜日定休日]
- ◇刻々と変わる情報により、上記の事なども急に変更せざるをえなくなる場合がございます。ご不明な点などございましたらギャラリー愛海詩へご連絡下さい。
ギャラリー愛海詩のご連絡先は [011(613)1112] でございます。

愛海詩の会 号外8

令和3年8月7日発行

編集発行人／ギャラリー愛海詩

佐藤睦子

〒064-0821

札幌市中央区北1条西28丁目2番17号

TEL・FAX／(011)613-1112

WEBSITE

http://www.emishi-s.com

E-mail:kougei@emishi-s.com

愛海詩の会

作り手、使い手、各々の生活を豊かに成すために、その技と心を育むことを基とし、一人一人の生活がより、心豊かになりますよう、文化的働きを推進する。健やかな会、北海道にこそより、必要な、大事にしたい「会」です。

- 職人・作家の特技を大切にする。
- 北海道の文化を育てる一翼となる。
- くらしを心豊かに彩る。

すでに会員の方には感謝申し上げます。また、お知り合いの方々にも入会のお声掛け下されば幸いです。そして一般会員の方(年会費3,000円・会費と同額の作品購入チケットが付きます)は賛助会員(年会費1口10,000円・会費と同額の作品購入チケットが付きます)になられて、より以上に「愛海詩の会」をお支えいただければ…と思うところでございます。ご不明な点などございましたら、どのような事でも「愛海詩の会」事務局がある、ギャラリー愛海詩へお問い合わせ下さい。

「木曜而今」ラジオ番組お知らせ

毎週木曜日 FMラジオカロス札幌78.1Mhz、午前11時からお昼12時までの約1時間、ギャラリー愛海詩 佐藤がラジオ生放送させていただいております。

文化を伝える、心の豊かさを伝える、職人・作家の手仕事を応援する番組です。リスンラジオのアプリでも聞くことができます。(日曜日 午前11時から再放送) どうぞお聞き下さい。